



立西巻き

尼崎市立立花西小学校
校長 笠井美香
2025. 6. 27 (金)
No.21

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

4階の窓から見たもの

各教室の様子を見てまわります。教室では笑い声や「はい。はい。はい。はい〜！」と何回「はい」を言うんやろか…とつつこみをいれそうなくらい元気な挙手の姿があります。ふと、4階の窓から、運動場の様子を見ると、プールで、青いズボンの二人が目にとまりました。校務員さんのお二人です。

この日は、職員でプール清掃をする日でした。職員プール清掃の前に、先生達のプール清掃がスムーズに進むように、清掃で怪我をしないようにと、何日も前から、予備清掃をしてくださっていました。

学校には、たくさんの職種の人達が仕事をしています。子ども達やおうちの方と関わりが多いのは先生方が一番であると思いますが、その子ども達や先生達、学校を支える縁の下の力持ちの仕事をしてくださる方たちもたくさんいます。

その中でも、特に校務員さんの仕事は、危機管理面や衛生面といった校内環境整備の目立たないけれど、常に心を配っていなければならない要となる業務を担っています。以前、教職にある私の主人とて、校内であこがれる人、尊敬する人はいるかという話をしたことがあります。私達は、二人とも「校務員さん」と声がそろったことを覚えています。どの学校に行っても、校務員さんといえば、何でも相談すると、すぐに動いて、実現してくださる方ばかりでした。先輩の先生から、転勤で異動したら、一番にあいさつをする人は校務員さんだと教えられたことがあります。その通りだと思いました。一番お世話になる人は確実に校務員さんです。教室の給食エプロンかけを作ってほしいといえば、すぐ作成。電灯が切れているといえば、すぐ対応。扉の滑りが悪いといえば、すぐ修理。「ハチがいる！」と言えば、すぐ出陣。お願いしたら、もう次の日(当日中といっても過言ではない)には、お願いごとが出来上がっていたり、見通しが立ったりしています。何でもできるスーパーマンのような存在です。なくてはならない存在です。学校の中のあちこちに目をやると、どう見ても、ホームセンターには売っていないであろうものがあります。最近では、職員室前にあるチラシ置き場を私の要求通りにつくっていただきました。しかも、とっておいた廃材もつかっての完成品です。買えば何万円もしそうです。予算の少ない学校で、いかにして快適な学校生活を送れるかと、校務員さんの知恵をかりっぱなしです。特に、私は勘弁してと思われても仕方ないくらい「あれして欲しい」「これお願いできる？」とやたら要求するのですが、笑顔で「わかりました」と二つ返事で取りかかってくさり助かっています。その笑顔にも救われます。それが仕事だと言ってしまうとそれまでです。しかし、その仕事ぶりは、プロの仕事、プロの意識、子ども達や先生、学校のためといった校務員さんの誰かを思いながら仕事をする心を感じさせるものがあります。本当に尊敬しています。

校内を見回すと、季節ごとの花が美しく咲いています。お花がきれいだと思うことはあっても、美しく花を咲かせるための土壌準備は誰がいつしたのかとまでは想像する人は少ないでしょう。

来週は参観日があります。来校の際は、子ども達の様子と同時に、学校を見回し、校内環境の工夫にも意識的に参観して下さるとうれしいです。今週も今日が最後。書きたいことが山とありますが、時間の捻出に苦勞しています。少し遅れてでも、お伝えしたいことは、これからも書き続けようと思います。